

第二号研修実地研修評価票：喀痰吸引 口腔内・鼻腔内吸引(通常手順)

医療法人社団喜生会

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。  
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。  
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。  
 「エ」…1人での実施を任せられるレベルではない。

受講者番号	
受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数		( )回目	( )回目	( )回目	( )回目	( )回目
実施月日		/	/	/	/	/
実施時間						
実施手順	評価項目	評価				
STEP4 : 準備	1 医師の指示等の確認を行う 2 手洗いをを行う 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する 4 必要物品を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ					
STEP5 : 実施	5 実地研修協力者に吸引の説明をする 6 吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える 7 口腔内・鼻腔内を観察する 8 手袋の着用またはセツシを持つ 9 吸引チューブを清潔に取り出す 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する 11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く 12 吸引器の電源を入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する 13 吸引チューブの先端の水をよく切る 14 実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う 15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する 16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する 17 吸引チューブを静かに抜く 18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く 19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす 20 吸引器の電源を切る 21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す 22 手袋をはすず（手袋を使用している場合）またはセツシを戻す 23 実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える 24 吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する 25 実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する 26 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ） 27 手洗いをする					
STEP6 : 報告	28 吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する 29 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ） 30 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）					
STEP7 : 片付け	31 吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる 32 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する					
STEP8 : 記録	33 実施記録を記載する					
アの個数 計						

評価項目の1から33の全ての項目について、必ず「ア」「イ」「ウ」「エ」の評価を記入して下さい。

※評価基準(ア・イ・ウ・エ)は、1~33まで全ての手順に対して必ずご記入ください。  
 ※訂正の際は二重線のうえ訂正印をお願いします。

\* 自由記載欄

( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	
( )回目	

【合格基準】 ①累積成功率が70%以上であること  
 ②最終3回のケア評価が全てアであること

口腔内	鼻腔内
-----	-----

※口腔・鼻腔は別々の評価票にご記入ください。  
 左記欄の行為種別のいずれかに○をつけてください。

指導看護師氏名 (自署)		判定	合・否
-----------------	--	----	-----